



市章

港のしるしと中央の五をもつて、安政五年通商条約により指定された五港を意味し、これに雪環を頂かして五港の一つ新潟をあらわす

### 8年度予算

## 中核市として新たな飛躍 福祉・ごみ減量化に重点



本年度の当初予算につきまして、一般会計予算が総額千八百九十五億円となり、七年度の当初予算と比べますと二・三％の増加となりました。

予算編成に当たりましては、税収面において市民税の伸び悩みや、固定資産税の負担調整率の改正などから財政状況が厳しさを増しております。こうした中、事務費など削減可能な経費

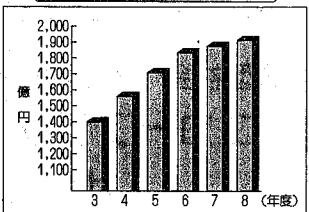
### 歳入

一般会計	1,895億円
国民健康保険事業会計	247億4,862万円
土地区画整理事業会計	8億4,357万円
下水道事業会計	431億2,649万円
中央卸売市場事業会計	3億8,906万円
ごみ焼却事業会計	2億7,884万円
土地取得事業会計	14億2,847万円
老人保健事業会計	378億2,339万円
工業用地開発事業会計	49億4,200万円
田子集積福祉貸付事業会計	8,780万円
病院事業会計	164億7,535万円
水道事業会計	172億7,645万円
合計	3,369億2,007万円

(各会計の予算額は千円以下切り捨て)

三月定例市議会で平成八年度予算が可決されました。一般会計予算は千八百九十五億円で、七年度当初予算に比べて二・三％増となります。本年度は中核市として新たなスタートの年となることから、移譲される権限を生かして、これまでの施策のより一層の充実を図りながら、新規事業に積極的に取り組むます。概要は二・三面で第四次総合計画の四つの都市像ごとに紹介。四面では計画・建設中の主な施設概要を掲載しています。

### 予算の推移



### 市民生活に密着した施策を推進

新潟市長 長谷川義明

中々工夫を凝らし、着実な中に積極的な取り組みを心掛けております。本年度は中核市として新たにスタートした年であり、これからは移譲され

を大幅に削減しながら、市民生活の安定と市民福祉の向上を図るため、既存の施策を充実させることにも、新たな先進的な施策を構想するなど、限られた財源の

た権限を生かし、市民の皆さんのより身近なところで行政を行うことができること、一層の市民サービスの向上に努めてまいります。また、新潟らしい個性

豊かなまちづくりを進めながら、環日本海の中核拠点都市として、一層の充実を図ってまいります。また、これからは移譲され

### 歳入の内訳

